⚠モバイルバッテリーから出火する火災が増加！

リチウムイオン電池を搭載した製品からの出火にご注意！

板橋消防署火災件数	総火災件数	モバイルバッテリーに起因する火災件数
令和６年	５８件	１件
令和７年	８３件	３件
令和８年（９月３０日現在）	５７件	４件

事例：
住宅内において、鞄に入れていたモバイルバッテリーから出火しました。
居住者は、タオルでモバイルバッテリーを包み、水を張った金属製バケツに水没させ消火しました。



火災を防ぐポイント

- 連絡先が確かなメーカーや販売店から購入する
- リコール対象製品は、使用を中止する
- 異常を感じたらすぐに充電・使用を中止する
- 強い衝撃を与えない
- 高温下に放置しない
- 一般ごみとして廃棄しない



万が一火災が発生したら

Point 1 大量の水をかける



Point 2 水没させる





焼損したモバイルバッテリー

⚠ 処分する際は製品の取扱い説明書をよく確認した上で、お住まいの自治体の廃棄方法に従い廃棄してください。

板橋消防署の取り組み ～北区の小学校の火災を受けて～



北区の小学校の火災を受け、板橋消防署では、児童・生徒等の安全と安心の確保に向け、板橋区全体校長会にて、自衛消防訓練時のポイントを指導しました。
また、板橋区と連携を図るため、板橋区教育委員会へ「学校における防火安全対策の徹底について」依頼しました。
板橋消防署では、令和８年度内に管内すべての小、中学校へ自衛消防訓練指導と避難経路などを確認するため立入検査を実施しています。
これからも地域の安全と安心の向上に向けて取り組んでいきますので、引き続き、消防行政にご理解とご協力をお願いいたします。

救急車の適時・適切な利用のお願い

病院？救急車？迷ったら…

ネットで緊急度を判断！
東京版救急受診ガイド

いざという時、落ち着いて使えるように、試してみよう！
東京版救急受診ガイドはこちらから

AI機能：症状から緊急度を判定します
GPS機能：最寄りの医療機関を検索します



電話で相談！
#7119 こちらからもつながります
03－3212－2323

林野・山林での火の取り扱いにご注意を！



林野火災警報・注意報について

「林野火災警報等」が発令された場合は、対象区域内での火の使用が制限されます。

詳しくはこちら↓

東京消防庁　職員募集

東京消防庁　採用　検索

https://tfd-saiyo.jp/

※お問合せは人事部人事課採用係まで

採用フリーダイヤル（平日8:30～17:15まで）
0120-119-882

板橋消防団員募集

入団資格
・１８歳以上の健康な方
・２３区内に居住・勤務・通学している方

問合せ先：警防課 消防団担当

入団エントリー等こちらから→

- 板橋消防署　電話：０３－３９６４－０１１９
- 常盤台出張所　電話：０３－３９５８－０１１９
- 小茂根出張所　電話：０３－３９７４－０１１９

板橋消防署ホームページＱＲコード

消防いたばし No.175

発行
板橋防火防災協会
板橋災害予防協会
板橋防火管理研究会

監修
板橋消防署

秋の火災予防運動特集

11/9(月)～11/15(日)

令和８年度東京消防庁火災予防標語
「見えぬ火を　見抜く心で　守る家」

作者　佐藤（さとう）　環（たまき）さん（中野区在学）



第75回はたらく消防の写生会優秀賞作品

管内の小学校１８校１，９５０名の児童の参加があり、優秀賞４３点、入選８９点、計１３２作品の入賞がありました。
板橋消防署ホームページから、全作品をご覧になれます。
（掲載は１１月３０日まで）

板橋消防署ホームページ
入賞作品展示はこちらから→

表彰式のようす

住宅火災から尊い命と財産を守りましょう!

板橋消防署の火災件数

令和７年の板橋消防署管内の火災件数は８３件で火災が急増した年でした。
令和８年はすでに５７件の火災が発生しています！（9月30日現在）



火災による死者の９割以上が住宅火災で発生しています。
住宅の中の火災が発生しやすい場所を知り、火災を防ぎましょう。
※「STOP！住宅火災」より引用

住宅火災の主な出火原因と対策

電気機器

NO! 近くに布団・洗濯物



就寝・外出時は必ず消す！

住宅でも注意！
リチウムイオン電池火災



「消火方法」と
「火災を防ぐポイント」はこちら

動画も見てね！

- ☐ コードは家具の下敷き、折れ曲がりに注意する
- ☐ 電源タップは決められた容量内で使用する
- ☐ ストーブの近くで洗濯物を乾かさない
- ☐ モバイルバッテリーの充電は正規品の充電器を使用する



NO! コード・コンセント
ほこり・折れ曲がり

たばこ

NO! 寝たばこ・不始末



小さな火種でも大きな火災！



寝たばこにより火源が落下し
布団に着火した火災

- ☐ 寝たばこは絶対にしない
- ☐ 飲酒→喫煙→うたた寝に注意する
- ☐ 吸い殻は水で完全に消してから捨てる
- ☐ 火種を落とさないよう安全な場所で喫煙する

こんろ

NO! 離れる・周囲に可燃物



調理中の着衣着火にも注意！



調理中の鍋が空焚きになった
ことで火災となった事例

- ☐ 調理中に離れない
- ☐ 安全機能（Siセンサー）付こんろを使用する
- ☐ 周囲に燃えやすいものを置かない
- ☐ 防炎品のエプロンやアームカバーを使用する

ご自宅に消火器を備えましょう





消火器の使い方はこちら↑

使用方法



処分方法

消火器等を廃棄する場合は、消火器リサイクル推進センター又は自治体にお問合せください。

消火器リサイクル推進センター
TEL 03-5829-6773

グラグラ揺れたら、ぴたっと電気を止める グラぴたスイッチ（感震ブレーカー）を備えましょう

地震時に発生する火災の多くは電気火災です。
震度5強相当の地震の揺れを感知すると、自動で電気を止めて火災を防ぐ、グラぴたスイッチを設置しましょう。



詳しくはこちら↑

10年で交換！住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して火災が発生したことをいち早く知らせ、素早い避難や有効な初期消火、早期通報に繋げることができます。
火災を知らせる警報器が設置されている場合は、死者数が約3分の1に抑えられています。
適切に設置・維持管理を行い、大切な生命・財産を守りましょう。
※「STOP！住宅火災」より引用



交換

設置後10年を目安に
交換しましょう！

点検



半年に１回は、
作動確認を行いましょう